



さくらんぼだより

2月号

令和5年2月1日

社会福祉法人 北杜福祉会 西多賀チェリーこども園

家庭と園が共に、子どもの成長を信じて、次のステップへ

今年の冬はまだ雪がチラチラと舞い散るのみで、「雪だるま作れないね～」と残念そうに空を見上げている子どもたちでしたが、先日の寒波で園庭が真っ白になりました。「やったー！ソリやりたーい！」「雪だるま作ろう！」と子どもたちは待ちに待った雪で保育者や友だちと思いいにたっぷり遊ぶことができ、大満足でした。また、池はいつも以上に氷が厚く張っていて、池の上に立ってスコップで氷を割りながら、「すごい！こんなにおっきい！」と、その厚さにビックリしていた子どもたちです。

園庭の畑では、5歳児が植えたカブ、小松菜、チンゲン菜、4歳児のホウレン草、3歳児の白菜、大根が土からしっかりと養分を摂って立派に育ち、子どもたちとクッキングをして美味しく頂いています。また寒さを越えて育っていく玉ねぎやスナップエンドウ、そら豆も、グングン生長中です。

1月の誕生会の時に、赤飯を作った後の熾火で、3歳児クラスで育てた“長芋”をホイルに包んで焼いてみました。「どんなふうになるかな～」と、子どもたちも職員も興味津々！焼き上がった長芋は、ホクホクで甘みもしっかりあって「おいしいー！」と子どもたちにも大好評でした。とろろで食べた時もおいしかったけれど、焼いて食べるのも、これまた美味しい！新しい発見となりました。

先月は、1歳児ノタン組の懇談会を皮切りに、各クラスの懇談会が行われました。クラス担任からは、これまでの保育を振り返りながら、自分のことは自分でやってみようとする気持ちが育ったこと、友だちとケンカをしながら相手の気持ちに気付いたり、少しずつ折り合いをつけられるようになってきたこと等、集団の中だからこそ身に付いてきた子どもたちの姿などを話しました。また、お父さんお母さん方からは、忙しい中でも絵本を読む時間を大事にしていること、イヤイヤの時期の関わり方に奮闘していること、子どもの話に耳を傾けることを意識していることなど、子どもと向き合う努力をしていることなどが話されていました。

懇談会で家庭での育児の悩みを話すことで「自分だけが悩んでいるのではないと思えたら、気持ちが軽くなった」と話されていたお母さんの言葉が印象的でしたし、どの家庭も子どもの成長を願い子育てを行っていることを感じました。これからも、家庭と子どものいいところ探しをしながら“共に子育て”を行い、子どもたちの成長を喜び合っていきたいと思います。

2023. 2. 1 園長 佐藤 真里枝



おしらせ



<おにぎりパーティーについて>

2月17(金)に、3歳以上児の子どもたちで“おにぎりパーティー”を行います。具材は、スイミー組の子どもたちが作った味噌と梅干しです。自分で食べるおにぎりは、自分で作ります。さて、どんなおにぎりが出来上がるのやら・・・お楽しみですよ！

<豆まき会>

2月3日(金)、豆まき会を行います。自分の心の中にどんなオニがいるのか、子どもたちと話し合っているところです。コロナウイルスに負けない、元気な子どもになるように願いを込めてオニ退治をしていきます！

おねがい



* 17:30～18:00にかけて駐車場が混み合うことがありますので、速やかに帰られるようご協力をお願いいたします。

行事予定

2月

日	曜日	行事
3	金	豆まき会
7	火	発育測定
14	火	誕生会
17	金	おにぎりパーティー
18	土	避難訓練



3月

日	曜日	行事
3	金	ひなまつり会
7	火	発育測定
10	金	避難訓練
11	土	卒園式
14	火	誕生会
24	金	一年生になるお祝い会
28	火	修了式



おはなしの広場まつりを行った後から、事務室に文庫カードを持ってきてハンコやシール、キラキラ折り紙を貰いに来てくれる子どもたちが増えてきました。先日も、0歳児クラスのRくんがお姉ちゃんと一緒に「シールください」と来てくれました。そんな姿を見て、小さい時から絵本に親しんでくれていることがとても嬉しかったです。また、大きいクラスの子どもたちが借りている絵本を見ていると、物語のシリーズや日本や外国の昔話、科学の絵本など、それぞれに好みがあり、どの子も絵本を楽しんでいることが感じられますし、文庫の返却箱がいっぱいになっているのを見ると、子どもたちが絵本をたくさん借りてくれていることを実感します。

福音館書店の松居直さんは、「“本”好きの子どもに育てるには、その子の好きな絵本を繰り返し、繰り返し読んであげることです。お母さんやお父さんが絵本を読んでもくれること、そのことが子どもには嬉しいのです。この“嬉しさや楽しさ”は、必ず子どもの心に深く残ります。大人は忘れてしまっても、この喜びは、子どもの成長とともに育ち、それが、本への興味にもなっていきます。」また、「乳幼児期により多くの喜びと楽しみ、言い替えればしあわせを、親から与えられた子どもは、成長したとき、自らのしあわせをしっかりと築きあげ、そして人とそれを分かち合える人間に育つのだと思います。」とおっしゃっています。

チェリー文庫には7000冊以上の絵本があります。どの絵本も、子どもたちに絵本の楽しさを伝えたい、絵本が大好きな子どもたちになって欲しいという願いを込めて、開園当時から“質”にこだわった絵本ばかりが揃っています。松居さんが、絵本は“耳で聞く本”と、おっしゃられていました。どうか、忙しい日々ではありますが、ほんの5分か10分、お母さん、お父さんの優しく穏やかな声と、あたたかな温もりを絵本を通して子どもたちに伝えてほしいと思います。そしてこれからも、チェリー文庫が活用され絵本が大好きな子どもたちに育ってくれることを願っています。



母と子の絵本棚

まゆとおに



「まゆとおに」

さく とみやす ようこ

出版社 福音館書店

天真爛漫なやまんぼの娘「まゆ」に思いきり振り回される鬼の表情が絶妙です。まゆを食べてしまおうとする鬼が、パワフルなまゆの前では、たじたじになってしまいます。「まゆ」と「おに」のやりとりに思わず笑ってしまうお話。また、降矢ななさんが描く迫力満点の絵もとても魅力的です。

「あぶくたった」

構成・絵 さいとうしのぶ

出版社 ひさかたチャイルド

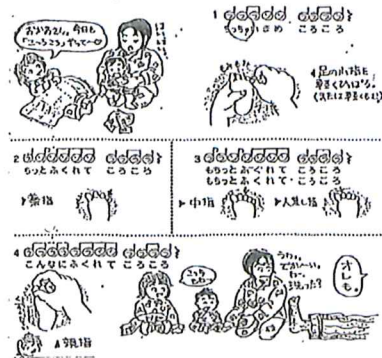
「あぶくたった にえたった にえたかどうだか たべてみよ」お馴染みのわらべうたが絵本になっていて、歌とお話しでお汁粉ができるまでを楽しめます。食べることが大好きな子どもたちに人気の一冊です。



わらべうたであそぼう

♪ちっちゃいまめ こ〜ろころ♪

ちっちゃいまめ こ〜ろころ (小指)
ちっとふくれて こ〜ろころ (薬指)
もちっとふくれて こ〜ろころ (中指)
もちっとふくれて こ〜ろころ (人差し指)
こんなにふくれて こ〜ろころ (親指)



版画

「のはらうた」 くどう なおこ作

